

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



自治体の概要

面積: 39.72km²
 人口: 110,919人(2020年1月末時点)
 大阪府の南東部に位置し、都市部へのアクセス性と豊かな自然環境、府内唯一の重要伝統的建造物群保存地区である富田林寺内町を有する。



今後のビジョン・計画

2030年のあるべき姿
 いのちが輝き みんなで理想を追求する
 魅力と活力あふれるまち富田林



優先的なゴール



2030年のあるべき姿の実現に向け、大阪府が「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン」でめざすオール大阪での取組の地域実装として、また2025年開催の万国博覧会による府域・市域におけるSDGsや健康に対する市民・企業等の機運を最大限に引き上げ、本市取組方針に基づき、力強くSDGsの実現された社会をめざす。

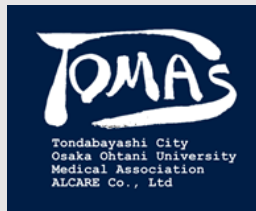
SDGsに関する特徴的な取組

いのち輝く“まちまるごと”健康プロジェクト



①「商助」による持続可能なエコシステム構築事業

- ・店舗や福祉施設等を活用した有償型健康事業の実施
- ・健康活動拠点として民間施設等の環境整備



②学生派遣による実学経験(PBL)事業

- ・健康事業の担い手として大阪大谷大学生の育成事業を実施
- ・「富田林応援団」としての登録と活用(関係人口)

③健康・環境×SDGs普及啓発事業

- ・地域企業・団体等の参加によるイベント事業で、ロールモデルの横展開と民民連携の促進

富田林市SDGs
 パートナーシップ制度



富田林市公民連携デスク

「富田林市産官学医包括連携協定(TOMAS)」に基づき、①～③の事業を連動させながら実施する。また、公民連携デスクとSDGsパートナーシップ制度を活用することで、新たな連携と付加価値創出、事業の加速化・活性化を図る。